

佐藤 学

SATO Manabu



1985年 東京都足立区生まれ(茨城県つくば市在住)

2008年 東京学芸大学卒業

現在は筑波大学大学院博士後期課程日本画在学中

主な展覧会

2010年 個展「なみ、え、みち、つくばから」
(茨城県つくば美術館／茨城)

2011年 アート亀山2011(12参加／亀山市東町商店街／三重)

2012年 佐藤学展「地をつなぐ」(伊勢現代美術館／三重)

C-DEPOT2012 TOKYO-YOKOHAMA
(スパイラル／東京)など。

滞在中、過去の痕跡を辿っていると、いつしか明日香の懐へと彷徨っていた。そこで感じたのは、山や川、空、過去の痕跡を含めた1400年分の明日香村そのものだった。

画面上で動く水や紙は生きているようで、私の意志を超えた素材に思える。そこに紙の継ぎ重なりがせめぎ合い、絵は空間へと広がる。私はそれらの痕跡に自身の描画を添えていく。

それはまるで、土や水に対し飛鳥の人々が残してきた地の痕跡を辿ることにも似ていると思う。

SATO Manabu



地を抱く

